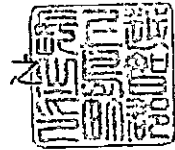


弓産建発第853号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 殿

愛媛県上島町長 上 村 俊



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

標記の件について、別紙のとおり提出いたします。

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○ 道路管理者の連携

近年、考え方や手法が変更となってきているが、やはり、道路整備においては各道路管理者において計画・整備される状況にあり、町と県・国等との連携が不足しているのではないかとと思われる。

県道等において、用地等の問題も含め何らかの問題から一部狭小区間等が残されておりますが、県においても一部区間のため国庫補助事業等での実施が困難で県単独事業にて進めているような箇所が多数残されています。

国をはじめとして財政の厳しい中、県単独事業の事業規模も縮小されてきており、そのような部分改良的な事業もなかなか進まないというのが現状であります。

このような状況を打開するためには、町と県・国等との連携が不可欠ではないかと思われます。例を挙げますと地域再生基盤強化交付金(道整備交付金)では、その対象が町道・広域農道・林道とされておりますが、その範囲を町の地域再生に必要と判断され、地域再生計画に掲載されている場合には、県道も含むという形にはならないでしょうか。

県が国庫補助事業で実施することが困難な改良箇所においても、地域として改良を必要としている箇所は、全国でもたくさん残されていると思います。地域の課題として残されているが、道路管理者ではないため市町では改良できない箇所の改良の促進において、県道を含めることは、狭小な県道が多い過疎地・離島等にとって課題の解消につながるものではないかと考えます。

県と町が一体となって、地域住民の要望に対する対応・地域課題の解消を進めていくことによって、地域の道路環境の向上につながっていくのではないのでしょうか。

○ 地域に見合った道路整備

道路構造令の柔軟な対応等が新聞にも掲載されておりましたが、やはり幅員・構造を含めて地域に見合った道路整備の推進をお願いします。

○ その他

道路特定財源の一般財源化について、地方の意見を聞かないで一般財源化を示されました。政局に合わせて慌てて行ったように思われます。根本的に見直す必要があるのではないのでしょうか。

②－１ 地域の現状と抱える課題

○現状

本町は、離島であり、離島特有の沿岸部に密集した集落と海岸に沿ったカーブの多い道路が多く、その幅員も狭小な箇所が多く残されています。

また、離島のための合併により誕生した本町は、内地近接型離島であるが、本土とは隔絶しており、一日も早い離島性の解消が期待されています。

○課題

カーブが多く、幅員も狭小なため、視距改良の改善を進めていく必要がある。

災害時等においては、船舶の欠航等により町全体が島ごとに孤立化してしまうため、災害に強い道路整備を進めていく必要があります。

離島というハンディを克服するため、町内の島間の架橋・本土へとつながる架橋の整備を進め、離島性の解消を図っていく必要があります。

前述の課題を着実に克服しつつ、新たに生じる地域課題に対応し、生活環境の向上と災害に強い道路整備を進めていきます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

様式 ④

愛媛県上島町

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
・地域活力の向上	離島架橋の推進(県道岩城弓削線(岩城橋)とそれに続く本土との離島架橋)	離島性の解消による町内間の地域間交流の促進による地域活力の向上 離島性の解消による広域交流の促進による地域活力の向上	
・災害に強い道づくり	道整備交付金の活用による安全・安心のまちづくり(危険箇所の局部的道路改良)	災害時に孤立化の恐れのある集落の解消 集落に通じる道路の迂回路の確保 道路交通における死傷事故率の減少(視距改良による道路環境の向上)	
・良好な生活環境の確保	道整備交付金の活用による安全・安心のまちづくり	住民のニーズ・要望に沿った道路改良による生活環境の向上	